

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖K）

<阿武隈川河口沖K 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
K-3	○	○	○	○	○	○

<阿武隈川河口沖K 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	H29.11.2	08:31	08:42	15.1	17.1	シルト混細砂	5Y3/2	植物片貝殻少々	21.0	3.5
K-3 (下層)				08:03		17.0						

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
K-3 (表層)	38.0458°	140.9518°	H29.11.2	08:31	8.1	0.8	2.4	8.7	3830	23.78	1.3	4	2.9	0.0014	0.0080	—
K-3 (下層)				08:03	8.0	<0.5	1.7	7.8	4960	33.36	1.0	3	1.9	0.0012	0.010	0.00091

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川河口沖K 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
K-3	38.0458°	140.9518°	H29.11.2	08:42	7.7	245	44.5	4.5	8.9	2.696	0.0	0.0	0.3	33.0	52.8	13.9	0.057	2.0	26	220	N.D. (0.12)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川河口沖K 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	阿武隈川河口 前面海域	—	—	H29.10.20	節足動物	軟甲	エビ	ワケガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>	ガザミ	2	0.66	成体	—	—	2.41	0.41	2.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	1	0.22	成魚	空胃	内臓除去	0.51	N.D. (0.36)	0.51	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	コチ	<i>Platycephalus sp.</i>	マゴチ	1	0.57	成魚	空胃	内臓除去	0.82	N.D. (0.35)	0.82	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Kareius bicoloratus</i>	イシガレイ	1	0.23	未成魚	コカイ類、シッコ類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.38)	N.D. (0.42)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pseudopleuronectes herzensteini</i>	マガレイ	1	0.54	成魚	コカイ類	内臓除去	1.1	N.D. (0.46)	1.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ	1	1.2	成魚	カクチイソ	内臓除去	0.45	N.D. (0.29)	0.45	N.D. (0.019)
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ニベ	<i>Nibea mitsukurii</i>	ニベ	2	0.90	成魚	エビ類、魚類	内臓除去	0.67	N.D. (0.38)	0.67	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。